

く ど じゅう しょう りん  
**くみあい 苦土重焼燐**®

良食味米生産と  
 土づくりには

高品質と  
 安定生産には



保証成分

く溶性りん酸  
(長ぎき)

**35%**

内水溶性りん酸  
(早ぎき)

**16%**

く溶性苦土

**4.5%**

副成分

珪酸▶ 9%  
 石灰▶ 20%  
 鉄▶ 2%

容量 20kg (樹脂袋入り)

品質向上と安定生産には

く み あ い 苦 土 重 焼 磷<sup>®</sup>

## 肥効上の特長

### りん酸

初期生育に必要な早ぎき（水溶性）と、中後期に必要な長ぎき（く溶性）両方のりん酸分を含んでいます。

### 苦土

肥効の高いりん酸苦土を含みます。その為、他のりん酸に比べて作物に吸収されやすく、高い効果をあらわします。

### その他

作物に必要な石灰・珪酸等のほか各種微量元素を豊富に含みます。特に低温時および、火山灰土壌、山間高冷地・泥炭地における各種作物のりん酸肥料として、又土壌改良資材として最適です。

## 取扱上の特長

- 成分が高いため、持ち運びや施肥の労力が大幅に節減され、省力・低コスト化に貢献します。
- 粒状のため、まきやすく、ケイカル・石灰類と混合散布および秋散布も可能です。

## 使い方 ●10アール（1反歩）の標準施用量は次の通りです。

| 水稻   | 麦類   | 豆類 | 野菜類  | いも類  | にんにく | 果樹   | 牧草   |
|------|------|----|------|------|------|------|------|
| 1～3袋 | 1～2袋 | 1袋 | 2～5袋 | 2～5袋 | 3～5袋 | 2～4袋 | 2～3袋 |

注 水稻追肥時期／●出穂前：40～30日●施肥量：1～2袋／10a

●これは基準ですから土壌条件・栽培法によって施用量は適宜増減してください。

※詳しくは最寄りのJAもしくは農業技術指導機関等にお問い合わせください。

くみあい

高溶出けい酸が稲を強化！鉄が老朽水田をリフレッシュ！！

# シリカサポート1号

根張向上  
＜溶性りん酸＞  
3.0% (保証)

P

Si

受光体勢向上・健苗育成  
可溶性けい酸  
20.0% (保証)

秋落ち対策  
鉄  
10.8%  
(効果発現促進材)

Fe

塩基バランス補正  
＜溶性苦土＞  
1.0% (保証)

Mg

アルカリ分  
32.0% (保証)

くみあい

# シリカサポート1号

| 保証成分   |       |        |       | 効果発現促進材 |
|--------|-------|--------|-------|---------|
| く溶性りん酸 | アルカリ分 | 可溶性けい酸 | く溶性苦土 | 鉄       |
| 3.0%   | 32.0% | 20.0%  | 1.0%  | 10.8%   |

## —シリカサポート1号の特徴—

●けい酸(シリカ)が葉や茎を丈夫にすることで、倒伏の軽減や受光体勢の維持による光合成能力の確保、登熟の向上を期待できます。

シリカサポートのけい酸は、実際の水田の環境に近いpH5.5～6.0での溶出率が高く、従来型のけい酸質肥料の1/3程度の施用量で、同等の効果を期待できます。

●土壌酸度を矯正し、苦土や石灰などを供給します。

●りん酸は主として、幅広い土壌酸度で効果的で、苦土重焼燐の原料でもある『焼成りん肥』に由来しています。

●鉄を含有していますので、老朽水田にみられる秋落ちを予防、軽減する効果を期待できます。

●粒状のため機械散布にも適しています。

## —水稲向けご使用方法—

|      |      | 土づくりの場合            | 中間追肥の場合           |
|------|------|--------------------|-------------------|
| 施肥時期 |      | 秋耕起前または春耕起前        | 出穂前45日から35日       |
| 施肥方法 |      | 全面施肥               | 全面施肥              |
| 施肥量  | 砂質土壌 | 3～5袋<br>(60～100kg) | 2～3袋<br>(40～60kg) |
|      | 粘質土壌 | 2～4袋<br>(40～80kg)  | 1～2袋<br>(20～40kg) |

※土壌分析に基づいた適切な施肥を心がけましょう。  
詳しくは最寄りのJAにお問い合わせください。

